

森林講演会～未来の森と木が香る暮らし

11月30日(土)、令和6年度深浦町森林講演会(主催 深浦町、後援 深浦町林業振興推進会議、つがる森林組合、(株)グリーンパワーインベストメント)がアオーネ白神十二湖「ヤマセミ」で開催され、町内外から約50人が参加しました。

町が森林をテーマとした講演会を開くのは令和5年度に続き、今回は2回目となります。近年の豪雨などの気象災害を引き起こす原因は気候温暖化が大きく影響していると言われており、二酸化炭素を吸収する森林は「ストップ地球温暖化」に大きな役割を果たしています。

第一部の講演では、株式会社 古川ちいきの総合研究所 高田敦紀氏が「林業の役割と可能性～林業にはロマンがある」と題し森の見方や価値観、林業の事例についてお話しいただきました。

第二部では Garimpeiro de Aromas (ガリンペイロ デ アロマ) 代表アロマセラピスト 團涼子氏が「木の香りのお話し&森の香りのサシェ作り～深浦・青森・世界の木～」と題し、講演と木のアロマ実習を行いました。林業におけるアロマセラピーの可能性や木のアロマオイルの効能についてお話しいただきました。アロマ実習では深浦町をイメージして、クロモジ・杉・青森ヒバの精油をブレンドしたオリジナルアロマ「深碧(しんぺき)」を使用してサシェ(香り袋)を作成しました。空のお茶パックの中に深浦産の杉のおがくずを入れ、アロマを2、3滴垂らし、布で包んで麻ひもで縛れば完成です。

参加者からは「非常に楽しい講演会でした。次回も参加したいです。」「森林・林業について自分の身近に感じることができるイベントでした。アロマについても森林の持つ力を知ることができて、とてもいい機会になりました。」などの感想がありました。



高田 敦紀氏



團 涼子氏



サシェ作りの様子

深浦の魚を食べよう!～お魚料理教室開催～

深浦産の魚介類の美味しさや魚に親しんでもらおうと、町内の2つの中学校でイカやカワハギを食材にしたお魚料理教室が開催されました。

12月5日(木)は大戸瀬中学校の1年生が、イカとホタテのシーフードカレーやカワハギのフライと潮汁に挑戦しました。イカの捌き方などを新深浦町漁協女性部から学び、悪戦苦闘しながら楽しく料理していました。

また、12月6日(金)には風合瀬漁協女性部が講師となつて、深浦中学校の2年生がホタテとエビのシーフードカレーや、カワハギとホタテのフライなどを作りました。

生徒からは、「勇気を振り絞ってイカを触ったけど、うまくできて良かった。」「カワハギって捌きやすい。家でも挑戦したい。」などの声が上がリ、深浦の魚の美味しさを知るとともに、地域食材を通じて生徒同士の交流も深まった様子でした。



新深浦町漁協伊藤女性部長からイカの捌き方を学ぶ(大戸瀬中学校)



風合瀬漁協吉田女性部長からカワハギの三枚おろしを学ぶ(深浦中学校)

令和七年 年頭の御挨拶

深浦町議会
議長 齊藤 登

新年、明けましておめでとうございます。
輝かしい新春を迎え、深浦町議会を代表いたしまして、町民の皆様にご挨拶申し上げます。また、旧年中は町議会に対しご支援、ご協力を賜り、スムーズな議会運営に微力を尽くすことができましたことを、議員一同深く感謝申し上げます。

ちの活躍は、私たちに感動と勇気を与えてくれました。
また、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手が存在は、多くのの人々に勇気と希望を与えてくれました。彼の努力や成果は、私たちにも大きな刺激となります。大谷選手のように、目標に向かって努力し続ける姿勢は、日々の生活や仕事においても見習うべきものだと思います。

全力を尽くしてまいります。そのため、今後もさまざまな町政の課題の解決に向けた提言や提案を積極的に行い、活発な議論を重ねてまいります。そして、町民の皆様の声を十分にお聴きしながら、少子高齢化の急速な進行や過疎化対策、経済の活性化、雇用対策、高齢者や子育て支援、第一次産業の再生などに取り組んでいく所存です。

とが重要だと考えております。
地方議会にとりまして、さらに研鑽と研究が求められています。議会の情報公開や説明責任を果たしながら、町民の皆様が将来への希望や生きがいを持ち、精神的な豊かさや生活の質の向上を実感できる成熟社会、人と人の絆を実感できる地域社会の構築に向け、バランスの取れた豊かで住みよい町づくりに向けて鋭意取り組んでまいります。

